

特別支援教室だより

令和6年 10月 吉日
巡回拠点大杉東小学校
特別支援教室通信

今年度の「特別支援教室だより」では、『身体の動き』に関する児童の困りに対して、「その困りの原因は?」「何がしてあげられるの?」といった視点で、巡回指導教員が考えた家庭でできる支援方法を掲載いたします。

【 今回のテーマ 】

指先を使うことが苦手な子

【 こんなことが考えられます 】

<指先の力加減や動きのコントロールが苦手>

日常生活で行われる握ったりつまんだりする動作には、自分の手指の力加減や動きをコントロールする力が重要です。例えば、文字を書くときには鉛筆を握る手指の力加減や指の曲げ伸ばし、動きをコントロールすることが必要です。この力の弱さが、指先を使う活動の苦手につながっている場合があります。

【 こんな遊びをしてみてもいいでしょう 】

○粘土遊び

粘土遊びの中で握ったりつまんだりする動作のトレーニングができます。粘土をちぎって、ちぎった粘土を指先や手のひらで丸めたり細長くしたりすることで手指の感覚を鍛えます。



○分間にいくつ丸められるか対決したり、
切れないようにどこまで細長くできるか
チャレンジしたりしても面白い!

○タオル綱引き

タオルの両端を持って綱引きをします。握る手を左右変えてみたり、握る指の本数を変えてみたりしてやってみましょう。



本校には5名の巡回指導教員がいます。「特別支援教室」について、ご質問がありましたらご連絡ください。

また、本校のホームページに「特別支援教室だより」のバックナンバーも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

ホームページのQRコードはこちら 

